



—湾岸・アラビア半島地域ニュース—

イラク：シーア派新政治連合の結成

(8月25日付現地各紙)

8月25日付現地各紙は、ISCIを中心とする新連合結成発表について報じている。各紙取りまとめは以下のとおりである。

1. 8月24日、次期国民議会選挙（2010年1月に予定）に向けイラク・イスラム最高評議会（ISCI）を中心とする「イラク国民連合（INA）」の結成が発表された。新連合には、ISCI、サドル潮流、バドル機構、独立派連帯ブロック、国民改革潮流、イラク国民会議、アンバール救済会議、イラク宗教指導者グループ南部支部代表、未来のイラク・グループ、アブドルカリーム・アンズイーのグループ、ファディーラ党、及びその他有力政治家が参加した。

2. 結成発表プレス会合での、INA 主要代表者の発言：

(1) フマーム・ハンムーディ ISCI 外交委員長

本日の INA 結成の発表によって描かれた新たな政局図は、イラクの飛躍的發展に合致するものであり、正義、法律及び平等が主流である新イラクというメッセージを与えるものである。度重なる INA 結成発表の延期は、我々をより良い論点へ導き、新連合メンバー間で新たな論点に合意することができた。

(2) アブドルマハディ副大統領（ISCI）

イラク統一を強化するうえで、INA の結成は大きな一歩である。これに続く次のステップは、イラク国民の前にある全ての問題に対処するため、我ら国民的連合への参加メンバーを更に拡大することである。

(3) ジャアファリ国民改革潮流代表（前首相）

INA は公正な国家へ向け実力、清潔さ、忠誠が支配する組織となることを追求する。最大の利益、権力の分散、テロとの闘い、平和的な政権交代、貧困対策、政治腐敗との闘い、疑わしきは罰せずとの原則により不法拘束者問題への働きかけを実現する。対外的には、イラクの主権尊重、内政干渉の排除、諸外国との関係強化をしなければならない。旧連合（統一イラク同盟：UIA）のすべての同志が新連合に参加することを望む。全ての政治主体に同連合への参加の扉は開かれている。新連合結成の発表は、失政の目立つ古い時代の終焉であり、新時代の幕開けである。

(4) チャラビ・イラク国民会議代表

新連合は国民的な政府を実現する国民議会を構成するための基礎である。我々は、イラク国民の安全、名誉ある生活を享受する権利及びイラク人の領土への主権を尊重する憲法の擁護を目指す。

3. マーリキー首相の動向

- (1) 新連合結成に向けて行われた ISCI とダアワ党の協議関係者は、マーリキー首相の属するダアワ党が新連合に参加しなかった理由は、サドル潮流とジャアファリ前首相を要職から遠ざけ、マーリキー首相に次期首相職を保証するとの同首相の条件が受け入れられなかったからであると述べた。
- (2) マーリキー首相は現在、自身を中心とする別の連合の結成に動いており、知識人、自由主義者、イスラム主義者、諸部族長などの様々なグループと会談している。